

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【公開番号】特開 2009-224505 (P2009-224505A)  
 【公開日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)  
 【年通号数】公開・登録公報 2009-039  
 【出願番号】特願 2008-66431 (P2008-66431)  
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/60 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

H 0 5 K 1/14 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/60 3 1 1 R

G 0 2 F 1/1345

H 0 5 K 1/14 C

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

透明基板と、

前記透明基板の一辺に沿って配列された複数の接続端子と、

前記複数の接続端子に異方性導電フィルムを介して電氣的に接続された配線基板とを備え、

前記複数の接続端子は、開口部を有する枠状に形成された金属膜と、該金属膜上に前記開口部を覆うように形成された透明な導電膜とからなるダミー端子を有することを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記複数の接続端子に電氣的に接続された配線を備え、

前記ダミー端子を構成する金属膜は、前記配線と同一材料からなることを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記導電膜の下地及び前記配線の下地のうち少なくとも一方をなす層間絶縁膜の表面には、平坦化処理が施されていることを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 4】

前記ダミー端子は、前記透明基板上で平面的に見て、前記複数の接続端子のうちのクロック信号用端子及びデータ信号用端子間に形成されていることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 5】

前記ダミー端子は、前記透明基板上で平面的に見て、前記複数の接続端子のうちの電圧が相異なる二つの電源用端子間に形成されていることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 6】

前記ダミー端子は、前記透明基板上で平面的に見て、前記複数の接続端子の配列内に、

相互から離間して複数設けられる

ことを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 7】

前記複数設けられるダミー端子は、

前記透明基板上で平面的に見て、前記配列における中央寄りに配置された中央寄ダミー端子と、

前記透明基板上で平面的に見て、前記配列における端寄りに配置された端寄ダミー端子と

を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の電気光学装置。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の電気光学装置を備えることを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の電気光学装置は上記課題を解決するために、透明基板と、前記透明基板の一辺に沿って配列された複数の接続端子と、前記複数の接続端子に異方性導電フィルムを介して電氣的に接続された配線基板とを備え、前記複数の接続端子は、開口部を有する棒状に形成された金属膜と、該金属膜上に前記開口部を覆うように形成された透明な導電膜とからなるダミー端子を有する。

また、前記複数の接続端子に電氣的に接続された配線を備え、前記ダミー端子を構成する金属膜は、前記配線と同一材料からなる。